

平成 20 年度(社)日本家政学会中部支部

第 3 回役員会議事録

平成 20 年度(社)日本家政学会中部支部第 3 回役員会は平成 21 年 3 月 3 日(土)、岐阜女子大学文化情報研究センターにて 14:10～16:40 まで開催された。

I. 報告事項

支部長より理事会報告がおこなわれた。学会賞、奨励賞、功労賞の受賞者決定と日本家政学会第 61 回全国大会(武庫川女子)の進捗状況、第 62 回全国大会は平成 22 年 5 月 28～30 日に広島大学で実施、平成 28 年度は中部地区が担当予定であること、公益法人制度改革に伴い家政学会は一般社団法人移行の方向で検討されていること、学会のアピールとして「サイエンスカフェ」の実施に対する 5 万円補助について報告された。

以上の理事会報告を受けて支部長より、新法人移行に関する計画(案)について説明がなされた。

*現在は「特例民法法人」であり、平成 22 年度に向けて「一般社団法人」に移行することとする。

*支部規定の目的・事業について見直しが必要となる。

*会計の決算書形式が変更になり、懇親会費は別会計とする。

*講演会は、公益性を高めるため全て公開講演会とする。

*5 月の本部大会前(4 月か 5 月前半)に支部総会を平成 22 年度から実施しなければならない。

II. 協議事項

1.平成 21 年度支部大会は平成 21 年 9 月 19 日(土)開催、午前一受付(9:15～)、若手の会、総会、講演会、昼一交流会、午後一研究発表会(口頭発表)、役員会が実施予定であること。スケジュールは、6 月末に演題募集案内送付、7 月 25 日申込締め切り、8 月 7 日プログラム・参加申込等を送付予定であることが報告され了承された。

2.平成 20 年度事業報告と平成 21 年度事業計画案の説明があり了承された。事業計画(案)は、①第 54 回大会について、②臨時総会について、③家政学関連院生・学生研究発表会は、平成 22 年 3 月 8 日(月)に椋山女学園大学で実施、④若手の会は公開講演会(サイエンスカフェ)実施、⑤役員会・役員連絡会・役員選考委員会について了承された。

3.平成 20 年度決算報告は、科目が変更され新形式となったこと、今年度の事業がほぼ予算通り執行されていること、第 53 回大会ならびに若手の会の決算について説明があり了承された。若手の会は 3 月末までにニュースレターを発行する予定である。

4.平成 21 年度予算案の説明がおこなわれ了承された。平成 21 年度は役員選挙の年にあたり選挙費が加えられている。来年度は支部交付金が 19 万円減額となる。来年度の支部大会参加費は 500 円値上げして会員 1,500 円、非会員 2,000 円とすることが了承された。

5.役員選考委員は 6 名の委員が互選により決定し、支部長、副支部長を加え以下の 8 名で構成されることになり了承された。

役員選考委員会 選考委員長 池田彩子委員

選考委員 小川宣子支部長、富田明美副支部長、森奥登志江委員、成田公子委員
平林由果委員、山中なつみ委員、三輪聖子 以上 8 名